

講義	科目	教科内容	講師	時間	単位数	開催予定
座学-1 ※	総論・基礎	①歴史的建造物の活用概論 活用の為の修復	後藤治先生	1.5 H	3単元	2022・5
		②歴史的建造物 活用の為の防災	後藤治先生	1.5 H		
		③イタリアでの歴史的建物活用に実際	黒田泰介先生	1.5 H		
座学-2	保存の実務	④国際文化財の保存活動の実際	大学研究者	2.5 H	4.5単元	2022・6
		⑤文化財先進国の保存管理修復体制	大学研究者	2.5 H		
		⑥庭園文化財	実務者	2.0 H		
座学-3	改修の実務	⑦修復の基礎知識と修復概論	実務者	2.5 H	4.5単元	2022・7
		⑧伝統工法の修復の実際	実務者	2.5 H		
		⑨伝統工法を支える材料と実務	大学研究者	2.0 H		
座学-4	修理・法規・各助成制度	⑩在来木造を支える材料と実務	実務者	2.5 H	4.5単元	2023・5
		⑪非木造の構造と修理	大学研究者	2.5 H		
		⑫建築法規と保存 〔景観・歴まち・3条その他〕	役所担当実務者	2.0 H		
現地講習	古民家	G1 古民家の実測と野帳の取り方	実務者	3.0 H	2単元	2022・8
現地講習		G2 古民家の利活用提案	実務者	3.0 H	2単元	2022・9
現地講習	耐震の実際	G3 限界耐力計算の基礎知識	実務者	3.0 H	2単元	2022・10
現地講習		G4 古民家の実測と限界耐力の実際	実務者	4.5 H	3単元	2022・11
現地講習	近代建築	G5 近代建築の保存の実際	現地講習・実務者	3.0 H	2単元	2022・12
現地講習		G6 近代建築の利活用の実際	現地講習・実務者	3.0 H	2単元	2023・1
現地講習	街づくり	G7 歴史を活かした街づくりの実際	現地講習・実務者	3.0 H	2単元	2023・6
現地講習		G8 登録文化財制度からみた文化財行政	現地講習・実務者	4.5 H	3単元	2023・7
全体講評		G9 受講生が見つけた歴史的建造物と所見	受講生全員	4.5 H	3単元	2023・8
		G10 全員の発表と各講評	受講生全員	4.5 H	3単元	2023・9
		受講者 負担受講料 40.5単元×1,000円=40,500円	合計	61.5 H	40.5単元	

★教科内容と開催予定は、今後変更する可能性があります

※座学 - 1は、プレ講座受講者は受講済み扱いとします